

**＜処理水 海洋放出の賛否＞**  
「その他」「答えない」は省略

	賛成	反対
全体	32%	55%
内閣支持層	39%	50%
自民支持層	41%	47%

福島第一原発の敷地内に貯蔵される放射能汚染水の処理水の処理について、政府は海洋放出を検討している。朝日新聞（1月4日付）の世論調査（郵送）の結果によれば、「汚染された水から大半の放射性物質を取り除き、国の基準以下に薄めた処理水を海に流す」ことへの賛否は、「賛成」32%と「反対」55%だった。内閣支持層でも50%が、自民支持層でも47%が

「反対」し、いずれも「賛成」を上回った。男性は「賛成」44%、「反対」46%に割れたが、女性は「賛成」22%、「反対」62%と大きく開いた。

福島第一原発事故に対するこれまでの政府対応への評価も聞いた。「評価しない」67%、「評価する」20%に割れたが、女性は「賛成」44%と、合わせて11%だった。

**汚染処理水**

# 海洋放出反対55%

「朝日」世論調査

福島第一原発事故の翌年の二〇一二年春、石川県の原発問題住民運動団体からの求めに応じて、能登半島中部にある北陸電力志賀原発（石川県志賀町）周辺の地質を調べる機会を得た。地元では、原発の北方を東北東から流下する富来川に沿って推定されていた富丘堆積物をボーリング掘削して、当初は、周辺に分布する段

来川の左岸で、掘つてすぐに中新世の火山岩類にぶち当たつて頓挫する。基本に立ち返つて、地道に周辺の地質調査から始めた矢先、段丘面から海岸に降りる道路沿いで、段丘堆積物が見

福島第一原発事故に対するこれまでの政府対応への評価も聞いた。「評価しない」67%、「評価する」20%に割れたが、女性は「賛成」44%と、合わせて11%だった。

福島第一原発事故に対するこれまでの政府対応への評価も聞いた。「評価しない」67%、「評価する」20%に割れたが、女性は「賛成」44%と、合わせて11%だった。

福島第一原発事故に対するこれまでの政府対応への評価も聞いた。「評価しない」67%、「評価する」20%に割れたが、女性は「賛成」44%と、合わせて11%だった。

## 志賀原発活断層問題研究グループ論文にたいする「地球科学賞」を受賞して

原住連・幹事代表委員 立石雅昭

その年代や高度を比較することで活動性を議論できると考え、多くの地元の方の参加の下に、ハンドボーリングや機械ボーリングで試料採取を試みた。しかし、この方法は富

つかつた。同様な路頭が周辺にならぬか、調べてもらつたところ、観光地の駐車場を広げるためにできた崖があるとの情報が寄せられ、調査に出かけたところ、典型的な海成堆積

物であった。その後、毎年三～四回現地に出かけて、地元の人たちと海岸に広がる波食棚や海食崖に見られる断層やノッチの測量・記載に取り組んだ。

調査データをもとに活断層委とのやりとりを経て、受理されたときには正直ほつとし。論文は一九年十月、「地球科学」に掲載された。この論文が「地球科学

賞」を受賞。私としても初めてのノッチやヤツコカンザシ化石の高度分布が、最近の地殻変動とかかわることを学んだ。

原発再稼働を阻止するたために、少しでも貢献できる成果を得ることができたとすれば、何より地元の方々の熱意のまものである。これからも、地元の人びとともに現地でモットーに原発周辺の地質調査に関わっていきたい。